

放射線科医がCT・MRIの読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

定義

令和元年度1年間の「翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数」を「CT・MRI 検査実施件数」で除した割合(%)です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。

算式

分子: 翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数
分母: CT・MRI検査実施件数

当院の値(調査期間)

R1年度	84.00 % (年間)
H30年度	85.70 % (年間)
H29年度	84.08 % (年間)
H28年度	85.10 % (年間)

項目の解説

高度な医療を提供するためには、画像診断をより早く、より正確に行うことが必要です。放射線科医によるCT・MRIの画像診断結果が翌営業日までに提出された割合を表現する指標です。またCT・MRIが放射線科医の監督の下に適切に行われていることを示す指標とも言えるので、実施率が高いことが望まれます。画像診断管理加算2(80%以上が算定要件)の施設基準を取得していない国立大学附属病院は数値が必然的に低くなります。